

政策シート 政策名 05 地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成

予算費目名 01 看護専門学校費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

・保健・医療・福祉の総合化、高度化に対応できる看護教育を実践し、地域医療の向上と市民の健康づくりに貢献できる看護師を育成する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	62,222	61,422	58,349	91,196		
決算	52,479	53,555	52,531			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	157,800	164,800	171,800	171,000		
年間経費(予算又は決算+A+B)	210,279	218,355	224,331	262,196		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
看護師の養成(入学生の確保) (人)	人	目標	70	70	70	70	70	70
		実績	64	67	64			
看護師国家試験の合格率(卒業生) (%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100			
相談、支援の件数(件)	件	目標	30	30	30	40	40	50
		実績	78	46	61			

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・保健・医療・福祉の総合化、高度化に対応できる看護教育を実践し、地域医療の向上と市民の健康づくりに貢献できる看護師を育成する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

○68名に看護師国家試験の受験資格を取得させ、全員合格に導いた。
 ○64名の新入生を確保した。
 ○市内で働く看護師の資質の向上とその定着並びに未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	学校管理運営事業	—	—	○		245,798	84,598	19.8	2.0		5.5	
2	看護師就業促進事業	—	—	○		945	245	0.1				
3	看護専門学校デジタル運営経費	—	—	—		15,453	6,353	1.1			0.5	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						262,196	91,196	21.0	2.0		6.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 学校管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

少子化・高学歴志向及び大学定員の増加により入学生の確保に苦慮する中で、有能な学生を確保するとともに、看護教員の資質の向上を図り、地域医療に貢献できる実践看護師を育成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立看護専門学校条例、浜松市立看護専門学校学則

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	61,709	60,901	51,964	84,598		
	決算	51,971	53,037	46,346			
	国・県支出		1,443				
	市債						
	その他	27,963	32,780	38,581	39,125		
	一般財源	24,008	18,814	7,765	45,473		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	156,400	163,400	162,000	161,200		
人工	正規	19.6	19.8	19.8	19.8		
	再任用(31h)	3.0	3.0	3.0	2.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	5.0	4.5	5.5		
年間経費(予算又は決算+A+B)		208,371	216,437	208,346	245,798		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
看護師の養成(入学生の確保) (人)			目標	70	70	70	70	70	70
			実績	64	67	64			
看護師国家試験の合格率(卒業生) (%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 05 01 001065000 01 看護専門学校 中村 その子 2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

看護師を目指す学生に修業期限3カ年をかけ、校内及び病院等の実習施設において、学科・実習97単位(延べ3,000時間)の看護基礎教育を収め、看護師国家試験の受験資格を取得させる。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

成果

- 68名に看護師国家試験の受験資格を取得させた。
卒業生のうち67名が看護師として就職し、その内63名が市内の医療機関に就職した。
1名は医療科学専門大学校助産学科へ進学した。
- 64名の新入生を確保した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

ここ2年は新型コロナウイルス感染症の影響で、本校においても講義のWEB授業への変更や実習場所の変更など学生の学ぶ機会の確保に苦慮した。現状においてもコロナ感染症の収束の目途が立たないことから、引き続き学生の安全と学ぶ機会の確保に努めていきたい。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

新入生の確保については、高校新卒者の減少とともに大学指向がより顕著になっており、厳しい状況が続いている。さらに、例年とは異なる日程で一般入学試験を実施したため、受験者数が大幅に減少した。

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、有能な学生を確保するとともに、看護教員の資質の向上を図り、地域医療に貢献する有能な実践看護師を育成する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

看護師を目指す学生に、3ヶ年かけて授業及び病院等の実習を通して、看護師として必要な知識・技術が身に付くよう指導し、看護師国家試験の受験資格を取得させる。

当年度入学者から新カリキュラムに移行(97単位→115単位)することから、それに対応できる看護教員の資質の向上を図る。

一般入試の試験日の見直しをするとともに有能な学生を早期に確保する観点から推薦入試の募集割合を増やす。

事業シート (事業名) 02 看護師就業促進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- 市内で働く看護師の資質の向上とその定着の促進を図る。
- 未就業の看護師資格所持者への再就業支援を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2010	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	513	521	245	245		
	決算	508	518	228			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	508	518	228	245		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	700	700		
人工	正規	0.2	0.2	0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,908	1,918	928	945		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
相談、支援の件数(件)			目標	30	30	30	40	40	50
			実績	78	46	61			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。
 - ・情報提供施設の整備、提供の促進……実践看護師に適した専門誌の整備をする。Web検索システムを提供する。
 - ・看護技術の練習、指導(随時)
 - ・個別相談・支援



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図った。
 - ・情報提供施設の整備、提供の促進……実践看護師に適した専門誌を66冊購入した。Web検索システムを提供した。
 - ・看護技術の練習、指導(随時)……参加人数0人
 - ・個別相談・支援……61件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の発生から2年が経過し、未だ収束の兆しが見えない中で、看護師等医療従事者が心身ともに疲弊し離職者が相次いでいる。引き続き個別相談などのサポートにより離職防止を図っていく。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。
- ・現在は停止中だが、本校卒業生を対象にした「卒後サポートLINE」による悩み事の相談など就職後のサポートをすることで離職防止を図る。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 市内で働く看護師の資質の向上とその定着を図る。
- 未就業の看護師資格所有者への再就職支援を図る。
 - ・情報提供施設の整備、提供の促進……実践看護師に適した専門誌の整備をする。Web検索システムを提供する。
 - ・看護技術の練習、指導(随時)
 - ・個別相談・支援

事業シート (事業名) 03 看護専門学校デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

看護専門学校のデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			6,140	6,353		
	決算			5,957			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			5,957	6,353		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				9,100	9,100		
人工	正規			1.1	1.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.5	0.5		
年間経費(予算又は決算+A+B)				15,057	15,453		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・校内システムの維持管理。
- ・学内管理システムによるデータ収集及び抽出。
- ・図書管理システムによる図書の管理。
- ・医学中央雑誌Web検索による情報提供。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・校内システムの維持管理をした。
- ・学内管理システムによるデータ収集及び抽出をした。
- ・図書管理システムによる図書の管理をした。
- ・医学中央雑誌Web検索による情報提供をした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

ここ2年間の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、不定期にまん延防止等重点措置が発出され、その度に学内での対面授業が実施できずWeb授業で対応した。未だコロナ感染症の収束が見えない状況のなかで、学生の学びの機会を確保するためにZoomによる遠隔授業やGoogle Workspaceを活用した遠隔指導を実施した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

ZoomやGoogle WorkspaceなどのICT活用による学生の学びの機会等の確保。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・校内システムの維持管理。
- ・学内管理システムによるデータ収集及び抽出。
- ・図書管理システムによる図書の管理。
- ・医学中央雑誌Web検索による情報提供。
- ・ZoomやGoogle WorkspaceなどのICT活用による学生の学びの機会等の確保。